

内科 I に通院中の患者さん（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とした医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] GGO 病変に対する EBUS-GS 法とバーチャル気管支鏡の有用性の検討

[研究機関] 北海道大学病院 内科 I

[研究責任者] 品川 尚文 （内科 I ・講師）

[研究の目的]

我々は肺末梢小型病変の診断においてガイドシース併用気管支腔内超音波断層法 (EBUS-GS) の有用性や気管支鏡検査にバーチャル気管支鏡を併用することの有用性を示してきました。一方スリガラス陰影 (GGO) に対する経気管支診断は難しいとされていますが、近年 GGO 病変に対しても同法による診断が試みられており、当科での後ろ向きの検討においても GGO 病変に対しての EBUS-GS の有用性を評価し報告いたしました。そこで今回当科にて行った GGO 病変に対する EBUS-GS とバーチャル気管支鏡を併用することによる診断率を後ろ向きに検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2004 年 5 月から 2015 年 9 月に当科にて GGO 病変に対して EBUS-GS にバーチャル気管支鏡を併用して気管支鏡検査を施行した症例。

●利用するカルテ情報

年齢、性別、検査結果（胸部 CT、胸部レントゲン写真）、気管支鏡検査の結果（病理組織、細胞診、培養検査の結果、EBUS の画像所見）、気管支鏡による診断名、最終診断名

[個人情報の取り扱い]

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

* 上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院内科 I 担当医師 品川 尚文

電話 011-706-5911 FAX 011-706-7899